



高南中学校 CS だより

(杉並区立高南中学校 学校運営協議会広報紙 令和7年3月発行)

地域とともにある学校づくり

本校は今年度、コミュニティ・スクールとして7年目に入りました。コミュニティ・スクールとは、学校と地域・保護者が連携・協働して学校運営に取り組むための仕組みのことで、学校運営協議会（以下、協議会）を設置した公立学校を指しています。そのため、コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校」とも呼ばれています。



学校長
立花 忠司

本校の協議会は、学識経験者、地域・保護者、公募で選ばれた皆様と校長で構成され、本校の現状や課題を知るとともに、本校の目指す姿、学校経営計画、教育課程、教職員の人事に関することなど、多岐にわたる事項について協議をしています。ここでの議論を経て、学校運営の改善を図るとともに、学校支援本部「高南会」が課題解決のための様々な事業を行い、学校を支えていただいています。これからもコミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校づくりを推進してまいります。

「高南中で学んでよかった！」

現在の高南中は、生徒の多くが明るくおおらかで、教師と生徒が仲良く学習活動はもちろんのこと、アイデアに満ちた学校行事や生徒会活動、部活動も活発に実地され、中学校生活を楽しんで過ごしていることが伺えます。「学校運営協議会のある学校」の指定を受けてから7年



高南中学校
学校運営協議会
会長
堀内 一男

目、11人の委員がほぼ1か月に1回、テーマを決めて協議・参観・援助をすると共に、教師や生徒会、時にはPTAとの懇談も実施し、学校生活の望ましいあり方の協議を進めております。

先生方のご指導を援助し、バックアップする目的で、地域や保護者、卒業生などの応援を得て、設置されている学校支援本部の「高南会」は、定期テストの直前指導や土曜学習、不登校生徒の補充学習（高南カフェ）等々の援助活動を積極的に実施しています。

全活動を公開しておりますので、ご参会いただきどうぞご意見をお寄せください。

今年度の協議会

- | | |
|-------------|--|
| 第1回（4月25日） | ●教師との懇談会 ●学校経営の方向性 ●PTA、高南会の活動予定 |
| 第2回（6月1日） | ●運動会参観 ●生徒の現状について |
| 第3回（6月20日） | ●行事（運動会・修学旅行・フレンドシップ等）についての改善点について |
| 第4回（7月16日） | ●1学期の学校の様子 ●教務主任、生活指導主任からの報告と懇談 |
| 第5回（8月27日） | ●学年別、課題別に教員との懇談 ●高南祭の準備状況の把握 |
| 第6回（11月9日） | ●行事に対する意見 ●学習・体力調査の分析 ●教師の任用に関する意見の提出 |
| 第7回（12月19日） | ●生徒会役員から見た学校への要望 ●CSだよりの発行について |
| 第8回（1月18日） | ●道徳地区公開講座（教員、PTAとの協議会） |
| 第9回（2月28日） | ●次年度の学校経営方針と教育課程の検討と承認 |
| 第10回（3月21日） | ●協議予定・生徒の進路状況について・今年度の活動の反省・次年度に向けたスケジュール検討（参観・運動会・高南祭・合唱祭・中学校対抗駅伝・土曜公開授業参観・小中合同研修会授業参観） |

CS委員と生徒・教員との懇談会より

生徒会役員と懇談会「学校設備に対する意見と要望」から

生徒一人一人からの意見を聞き、それに対して校長先生・副校長先生・CS委員が意見や感想を述べたり、質問をしたり、応援をしたりする形で進められました。

～生徒からの要望抜粋～

- 生徒会長として、運動会と同じぐらいの規模のクラスマッチがしたいです。
- 部活動で朝練はできませんか？
- 吹奏楽部でもっと地域で演奏できる場があったらよいと思います。
- 高南中のウォーターサーバーを2F/3Fに増やしてほしい。
- トイレの自動水栓の水圧が弱い。



後藤郁子 委員

日々高南中で学校生活を送る生徒さんの率直な意見や要望を聞くことができ、とても貴重な時間となりました。



山口京子 委員

生徒会役員の皆さんが学校の施設、部活動、行事についてしっかり考えていることがわかって「すごい!」と思いました。特に、自分たちで出した「クラスマッチの開催」というアイデアを年度内に実現させよう!という熱意に感激しました。



豊川充子 委員

学校内の課題や要望などを生徒の皆さんがきちんと考え、CS委員へ伝える機会ができたことは生徒役員やCS委員にとっても貴重で有意義な時間でした。



木村房代 委員

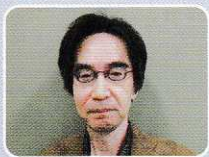
生徒が学校への要望や地域への要望をしっかりとした言葉でまとめて伝えていました。さすがに生徒会役員をやる生徒だなと感心しました。

生徒との懇談会での共通の感想

生徒たちの前向きな発言や行動は素晴らしいと思います。これからも「われらの高南中」をさらに素敵な学校にしていきたいと思います。CS委員として応援したいし、生徒の声を聞ける懇談の機会を増やしていきたいと思いました。

テーマについて教員と懇談

「授業のユニバーサルデザイン、授業における個への対応について」



和田信之 委員

高南中ではICT教育がどの教科においても積極的に活用されていることがよくわかりました。ICTツールの活用により、通常の授業ではなかなか発言することができない生徒も参加しやすい環境を作ることができる点はメリットであると感じました。一方、書く力や読む力をつけるためには紙媒体も必要であり、デジタルとアナログをうまく使い分けて授業を実施することが必要であること、デジタルを生かすためには基礎学力やタブレット等の機器の使い方についてのリテラシーの向上が重要であることも理解できました。



大橋 哲 委員

デジタル教科書の内容や活用が科目によって偏りがあるとの指摘もありましたが、全国学力・学習状況調査では、ICT機器の学校での使用について全国や東京都の公立学校と比較して肯定的な回答をしている生徒がかなり多く、高南中学校のICT機器の活用が進んでいる状況がわかりました。今後もICT機器の有効かつ適正な使用を継続していただければと思います。



教師が地域に求めること



伴野由紀 委員

教員との懇談では、「教師が地域に求めること」「教育のユニバーサルデザイン」の二つのテーマについて、先生方を交え懇談しました。各々の立場からの話・意見はどれも有用で、多様な意見交換ができ知見が広がったとともに、CSメンバーと先生方とのコミュニケーションの場としても非常に良かったと思います。



谷村一成 委員

私は、地域への要望について先生方と議論しました。どうしたら地域活動に生徒たちが参加しやすいか、地域からの多様な情報の中から、どうしたら先生方や生徒たちが効率的かつ効果的に情報を選択できるか議論することができました。簡単に答えは出ませんが、双方の悩みや課題をシェアすることができて非常に意義ある時間だったと感じています。



教師が地域に求めること、検討中



グループ討議の発表



ICTとAIの学校での活用について

地域と共にある学校づくり

学校運営協議会のある学校（コミュニティ・スクール。CS）とは、地域と一体となって子供たちを育む『地域とともにある学校』を目指して、平成16年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により導入された制度です。

地域住民や保護者等が一定の権限を持って学校運営に参画し意志決定を行うことにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取り組む合議制の機関です。委員は教育委員会が任命する非常勤職員で構成されています。



高南中運動会の名物ムカデ競争！



吹奏楽部
地域交流「ゆめ音楽祭」に参加



3年最後の合唱祭 熱唱！



持田 肇 副校長

本校協議会のメンバーは、幅広い分野の方々と構成され、人材に恵まれています。委員の方々の意見を取り入れて、地域と一体になった学校作りを目指し、高南中学校のファンを増やしていきたいと考えています。学校運営協議会は公開されていますので、是非ぜひ一度いらしてください。

皆様のご参加をお待ちしております。

令和6年度
学校運営協議会委員

会長：堀内 一男
委員：立花 忠司・志達 和雄・豊川 充子・和田 信之・木村 房代・
大橋 哲・山口 京子・谷村 一成・後藤 郁子・伴野 由紀